

ダムの風だより



小太郎だよ

犀龍よ

”大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！



国土交通省 大町ダム

洪水に備え準備完了！

梅雨の時期と台風の時期は降雨量が多いことから、大町ダムでは6月1日から9月30日までを洪水期として定めています。今年には洪水に備えた以下の準備を完了しました。



令和2年12月11日
水位：889.05m



令和3年5月28日
水位：879.03m

1 洪水調節容量を確保

洪水調節は大町ダムの仕事の中でも特に重要な仕事の一つです。大きな洪水があった時に、大町ダムで一定量を貯められるよう、貯水位を下げて備えています。この洪水調節容量（2,000万 m^3 ）には木崎湖と同じくらいの量を貯めることができます。

2 設備の点検整備

ダムとしての機能を正常に発揮するためには各施設の状態把握が重要です。そこで定期的に点検することで、異変や劣化具合を適宜把握しています。洪水期前には詳細に各部を点検し、実際に動作するか確認しています。また関係機器とのデータの送受信が正常に行われているかを確認する点検を実施しています。



ゲート設備の点検

3 洪水に備えた訓練の実施

毎年洪水期前に、大雨が来た場合を想定し、ダムからの放流開始前の河川パトロールや放流警報、情報伝達など、放流までの一連の流れの訓練を実施しています。

訓練を通して改善点等を洗い出し、実際の放流時に情報伝達が迅速確実にいえるよう備えています。



巡視箇所の確認

大町ダムからの情報提供

大町ダムの情報はホームページから確認ができます。

トップページ1番下の『ライブ映像 放流状況/河川水位/雨量』から、大町ダムの流入量や放流量、降雨量データはもちろん、大町ダムや高瀬川15箇所の画像をリアルタイムでご覧いただくことができます。

<大町ダムホームページ>

<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>



ライブ映像 放流状況/河川水位/雨量

○小規模地震の発生

大町ダムには震度計が設置してあり、地震時点検マニュアルに沿って、大町ダムは、大町市内で震度4もしくは、ダム底部で25gal以上の値を記録した際に臨時点検を行うこととしています。震度2を記録した3月31日15時56分の地震以降、4月18日までに16回の有感地震を観測しました。16回の地震の内、25galを超えた地震は4回あり、その都度臨時点検を行い、ダム本体に異常がないことを確認しています。

また、大町ダムで最大震度(63gal)を記録した4月15日の地震では臨時点検で斜面上の浮き石が管理用通路に落下したことを確認しました。安全対策としてバリケードを設置しました。



バリケードの様子

○安全利用点検の実施

4月14日、大町ダム管理事務所は公園管理者の大町市役所と合同で安全利用点検を行いました。大町ダムでは地域のふれあいの場となるべく、ダム周辺を開放してご利用いただいています。利用者の増加が見込まれる連休前に「安心して利用できるダムとなっているか」「危険な箇所が潜んでいないか」など利用者の立場になって、点検を行いました。



安全利用点検時の様子

○大町南小学校がダムを見学

5月25日、常盤地区を中心に大町を学習する、大町市立大町南小学校3年生38名が大町ダムを見学しました。当日は先週の大雨に伴い放流を行っていたため、「現在1秒間に2Lのペットボトルを1万本流しているんだよ」と伝えると、児童たちは大変驚いていました。

また、説明案内を通して、熱心にメモをとる、写真をとる、質問をする姿が多く見られ、意欲的に学習に取り組んでいました。



大町ダムの説明

○放流警報（運用変更）の住民説明

5月28日、大町市連合自治会等の方々に放流警報の運用が変わったことを説明しました。大町ダムからの放流により氾濫が生じる、又は氾濫が生じる恐れが高くなった場合に民家側にも放流警報が流れるようになります。

質疑応答においては、3月下旬から4月中旬に頻発した地震について心配視する声があがったため、当所が知り得ている情報を話し始めると、真剣な様子でお聞きになっており、住民の防災意識の高さが窺えました。



放流警報の説明



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロヲ大クボ2112-71
TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512 <http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>